



乳がんから 命を守るために

7万人以上の女性と歩んできた
20年にわたる研究を継続したい

マンモグラフィと超音波検査を併用する検診の有効性を検証

日本人女性の9人に1人が罹患するといわれる「乳がん」。その発症は30代後半から急増し、40代後半～50代前半の、仕事や子育てなどが重なる年代で高い罹患率となっています。

乳がんは早期発見・早期治療ができれば生存率は90%以上と高い一方で、現在の乳がん検診の基本である**マンモグラフィ検査**においては、**40代女性に多い「高濃度乳房」**ではがんが見つかりにくい場合があることが指摘されています。

私たちは20年前から、**マンモグラフィと超音波検査を併用する検診**の有効性を検証するための比較試験「**J-START**」を、国家的プロジェクトとして運営してきました。本研究では全国から7万人を超える多くの方々にご協力いただいておりますが、今後も長期間にわたって続く大規模な研究を、公的資金や大学の予算のみで支え続けることが困難な現実と直面しています。



未来の女性たちが乳がん検診で命を守れる社会へ。そして、乳がんを克服できる社会へ。私たちの研究を未来へつなぐためのご寄附を、心よりお願い申し上げます。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス

寄附募集期間 2026年8月1日(土) 9時 ~ 10月30日(金) 23時

目標金額 1,500万円

本研究の継続にあたり必要な金額は、総額 6,000万円です。
目標金額を超えてお寄せいただいたご寄附も、研究実施体制の維持・向上に大切に活用いたします。
なお、万が一目標に達しない場合でも、集まった資金をもとに研究を進行いたします (All in方式)。

ご寄附・詳細はWebサイトをご覧ください。東北大学へのご寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。

J-START | 7万人が参加する乳がん検診の研究、継続へのご寄付を
<https://readyfor.jp/projects/J-START>

東北大学 乳がん クラウドファンディング



本研究に関する
お問い合わせ先

J-START研究班事務局 (東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野)

☎ 0800-6005-411

✉ j-start@g-mail.tohoku-university.jp

